

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Purpose

人を想う感性と心に響く技術で、多様な文化が息づく世界に。

子会社合併
3社

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオ変革

DX・SX・海外生活系・新事業・エレ重点事業の成長事業で利益の過半を稼ぐ構造へ転換。Erhoeht-X®を軸にスケール化を推進。

3. ESG取り組み深化

サステナビリティ推進委員会を設置。環境ビジョン2050・TCFD・TNFDに基づき、環境課題に取り組む。

2. 経営基盤強化

知財戦略・人財戦略・システム基盤のモダンイゼーションを推進。2026年4月にTOPPAN3社を合併し、シナジー創出を加速。

4. 人財戦略強化

次期人事システム構築と新たな人財開発プログラム導入。ダイバーシティ&インクルージョン実現で人財活性化を推進。

③ 対処すべき課題

① 事業構造の転換

- ・ DX・SX・新事業の成長化で利益の過半を稼ぐ体制構築
- ・ Erhoeht-X®による業務プロセス全体の請負でスケール化
- ・ 半導体関連ハイエンド品の生産能力拡張と次世代技術開発

② 経営効率化と統合

- ・ 2026年4月のTOPPAN3社合併によるシナジー創出
- ・ グループシステム統合による経営効率向上
- ・ 知財活動の強化と事業戦略の一体化

③ サステナビリティ推進

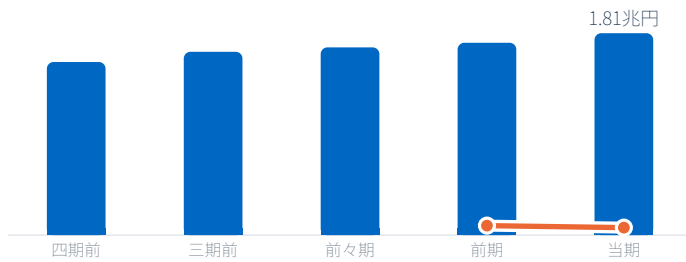
- ・ 環境ビジョン2050に基づくサプライチェーン全体の環境課題対応
- ・ TNFDのLEAPアプローチによる自然関連課題分析
- ・ 人権方針とサステナブル調達ガイドラインの実践

面接で使えるポイント

- ・ Erhoeht-X®を軸にDX事業をスケール化し、得意先の業務プロセス全体を請け負う事業展開を推進している。
- ・ 2026年4月にTOPPAN3社を合併し、経営資源や顧客基盤を一体化させてシナジー創出を加速させる。
- ・ 環境ビジョン2050とTNFDのLEAPアプローチに基づき、サプライチェーン全体での環境課題対応を強化している。

証券コード 7911

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.81兆円営業利益率
3.7%財務健康度
41点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
868万円

その他製品内 7位/105社

平均年齢
42.8歳

その他製品内 47位/105社

平均勤続
15.9年

その他製品内 35位/105社

女性管理職
17.7%

その他製品内 16位/83社

男性育休
100.0%

その他製品内 13位/63社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

